

留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ
留学期間	2018年8月～2018年12月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	45万円
保険料	2万8千円
宿舍費（1か月あたり）	13万円
食費（1か月あたり）	ミールプラン
渡航旅費	23万円

滞在形態関連

1) 種類
ホームステイ。
2) 部屋の形態
個室。
3) 設備
シャワー、トイレ、キッチン、ランドリー、インターネット環境。
4) 住居を探した方法
個人的に探した。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？

はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？

いいえ。

4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？

はい。出発前に日本でMMR、到着後オリエンテーション前に現地でツベルクリンの検査。

5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？

留学先の友人、大学の留学担当窓口。

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

治安は良かったと思いますが、夜遅い時間は危ない場所もあると聞いていたので、1人で出歩かないようにしていました。在留届を出しており、現地に関する情報が送られてきたので参考にしていました。少し日本語を話せる現地の人もいて、昼間であっても、女の子1人で歩いていると声をかけられることも多かったので気をつけた方が良いと思います。

7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？

携帯電話は、現地で使えるSIMカードを日本で購入・登録し、使っていました。ホームステイ先はたまに接続が不安定な時もありましたがWi-Fiを利用することができました。

8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

デビットカードとクレジットカードを主に使っていました。ホームステイ代が現金払いだったので、デビットカードを使って、現地のATMで下ろしていました。

9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？

物価が高いので、ワイキキなどの観光地ではなく、地元のスーパーなどの方が節約できると思います。会員価格があるスーパーも多いので、よく行く場所は会員になった方がかなり安く買い物ができると思います。日本の食べ物や日用品は様々なところで売っているので現地調達も可能ですが、高いので、余裕があれば持って行った方が良いと思います。

10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？

クレジットカード。

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

基本的にずっと気温が高いので半袖短パンで過ごすことができますが、寒い日があったり、室内のエアコンが強くて寒かったりすることもあるので、長袖も持っていった方が良いと思います。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？

ホームステイ会社の送迎。

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われて

いましたか？

はい。8月上旬2週間の間に3回ほどオリエンテーションがあり、1回目はVISAやT-20、カレッジのカウンセラーやカルチャーショックの乗り越え方などについて、2回目は履修登録、3回目はカレッジ内の案内などを行いました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）**履修した授業科目名**

Introduction to Hospitality and Tourism

授業内容や試験、授業を受けた感想について

観光業を様々な側面から学び、観光業とは何かについての基本的な知識を得る講義です。数単位ごとのミニテストが4回、エッセイと広告作成が1回ずつ、プレゼンが1回、すべての単位を含むFinal examがありました。週に2回授業があり、グループワークも多いのでクラスメイトとコミュニケーションを取る良い機会になりました。授業内容も実践的なものが多く、今後活かせると思いました。しっかり予習をしておけば理解することは難しくないと思います。

履修した授業科目名

Food and Beverage Operations

授業内容や試験、授業を受けた感想について

レストランやルームサービスなど飲食業についての授業でした。有名ホテルでのフィールドワークがあり、実際にホテルで働く方から話を聞いたり、ホテルの裏側まで見せてもらったりすることができました。授業の一環でイベントでのボランティアがあり、授業で学んだことを実践する機会もありました。毎授業10~20分で数単位ごとのミニテスト、イベントやフィールドワークで学んだことに関するエッセイが4回、グループプレゼンが1回、すべての単位を含むFinal examがありました。テストは、1単位であっても教科書の範囲が広く大変でした。

履修した授業科目名

Tour Operations Management

授業内容や試験、授業を受けた感想について

観光ツアーを行う上で大切なこと、気をつけるべきことを学ぶ実践的な授業でした。カレッジ内でのキャンパスツアーからワイキキ、ダウンタウンでのフィールドトリップなどを行い、クラス全員の前でツアーガイドをする機会が何度もありました。最終的にはクラスでバスを貸し切ってオアフ島を一周するバスツアーを行い、担当箇所についてバスガイドのように説明する機会がありました。とても陽気な先生で授業は厳しくなく、楽しくやろうという雰囲気がありました。Final examがありましたが、勉強しておくべきところを事前に教えてくれました。

履修した授業科目名

Introduction to Hawaiian Culture

授業内容や試験、授業を受けた感想について

ハワイの文化や歴史を学びました。单元ごとにテストが6回、プレゼンとエッセイが1回ずつ、グループワークが1回ありました。ハワイ語が多く出てくるので、それを覚えるのは大変でしたが、しっかり勉強すればテストは十分な点数が取れると思います。クラスに日本人も多くいましたが、ローカルの人とバランスよくグループを組んでくれたので、コミュニケーションを取る機会も多く、お互いの文化の違いなどについて話すこともできました。

留学体験記

<p>留学しようと思った理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>もともと留学してみたいという気持ちがあり、国際日本学部に入學しました。留学を通して、英語力の向上と自分と異なる文化的背景を持つ人々との交流をしたい、外から見た日本を知りたいと考えました。将来、観光業に就きたいと考えていたので、観光業の講義があるKCCを選びました。事前に見ていた留学報告書で、実際にハワイの観光地に行って実践的に学ぶ授業があると知り、楽しく学びながら自分の将来に活かせることを身につけられるのではないかと考えました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>入学時から留学を考えていたので、1年次は必修の英語の授業に加え、TOEFL Preparationのクラスを履修していました。また、Type1の講義を履修し、留学先の英語での講義に備えていました。留学先が決まったら、出来るだけ現地の情報を集めておいたほうが良いと思います。例えば、滞在先を考える際には、場所や家賃だけでなく、周囲の交通機関も具体的に調べておくべきだと思います。ハワイの主な交通機関はバスですが、場所によってはバスの本数が少なかったり最終バスの時間が早かったりすることがあるので、最寄りのバスの時間や本数も考慮に入れておく方が良いと思います。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学先や留学先で履修する授業を決める際には、国際日本学部の留学報告書を見て、先輩の体験談を参考にしていました。特によく使っていたウェブサイトなどはありませんが、留学先でボランティアを探すときにはFacebookやInstagramを利用していました。情報収集や現地の友達との連絡手段にも使えるのでアカウントを持っておくと思えば便利です。また、私は利用する機会がありませんでしたが、びびなびハワイというウェブサイトは、イベントやルームシェアなど様々な情報が掲載されているのでとても便利だと思います。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>KCCは入試がなく誰でも入学できるという制度のため幅広い世代の学生がいました。20～30人の少人数制授業で学生同士や先生との距離も近く、分からないことがあれば聞きやすい雰囲気でした。ローカルの学生だけでなく、アジア系を中心に留学生も多く、多文化を寛容に受け入れている雰囲気でした。授業によっては半分近くが日本人留学生ということもありましたが、グループワークなどで様々なバックグラウンドを持つ人同士で話す機会も多く、お互いの文化を尊重しあう雰囲気でした。人種差別などはなかったです。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>私は5ヶ月間の留学だったので、ずっとホームステイをしていました。個室があり、シャワーやトイレ、キッチンをホームメイト3～5人で共有していました。たくさんホームステイを受け入れている家族だったので、日本や台湾、中国からの留学生が入替わりで来ており、様々な国の人と交流することができました。ホストマザーが日本人だったので日本語が通じる環境ではありませんでしたが、英語で話すルールだったので英語力をつける良い機会になりました。時々Wi-Fiが繋がりにくいことがありましたが、部屋も清潔で過ごしやすかったです。基本的には個室で過ごしていましたが、食事の前後にはリビングに集まり、話をする時間もあり、</p>

	自分の時間とホームメイトとの時間のバランスがよく、リラックスして過ごすことができました。
留学先における交友関係	ホームステイや授業、ボランティアを通して、様々な国籍の友達ことができました。あまり意識していませんでしたが、ハワイは、日系人やアジア系の人が多かったため、友達も日系やアジア系が多かったです。履修する授業にもよりますが、日本人も多かったため、自分から話しかけないとローカルの友達を作るのは難しいと思いました。日本語を教えるボランティアを通して、日本に興味のある現地の人ともたくさん友達になることができ、日本についての話をすることもできたのがよかったです。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	授業が始まった頃は、他の学生は既に以前からの友達だったり、他の授業で顔見知りだったりしていたので、その輪に入るのが難しいと感じることがありました。留学生がたくさんいて、慣れているせいか、わざわざ話しかけようという感じもないので、自分から話しかけようとしないとなかなか友達はできませんでした。また、F1 ビザの留学生は基本的に12単位分(3,4教科)しか授業を受けておらず、思っていたよりも自由な時間が多かったです。
留学先における学習、課題や試験	留学生は基本的に12単位分の授業を取っている人が多く、週に4教科のみだったため、予習・復習をする時間は十分にあったと思います。1日に1教科しか授業がないこともあったため、平日の授業時間以外で課題や勉強に取り組み、土日はボランティアや遊びに行くなどしていました。予習で読まなければならないテキストの量が多く、大変だと感じたことはありましたが、内容は十分に理解できるレベルであると思います。
大学外の活動（課外活動や自由時間など）	様々なボランティアを行いました。授業内で先生がイベントのボランティアの募集について知らせてくれることが多かったため、できる限り参加するようにしていました。例えば、ilima awardsというグルメイベントで、お客さんに食事を運び、説明するボランティアをしたり、ホノルルマラソンで参加者の案内をするボランティアをしたりしました。また、現地で日本語を勉強している人たちの会話の練習相手をするボランティアも行い、日本に興味のある人と関わる良いきっかけになりました。
留学を志す人へメッセージやアドバイス	ハワイは日本からもたくさん観光客が来る場所なので、普通に生活していても日本語を目にすることはとても多く、観光地に行けば日本語が通じることも多いです。カレッジでも、留学生が多いので、現地の学生は留学生だからといって話しかけてくれることは少なく、日本人も多いので日本人とだけ関わっていくことも可能です。他の留学先と比べると、ハワイは自分から行動しないと英語力を向上する機会は少ないと思います。一方で、ボランティアなどでは日本語を話せることは強みになります。日本に興味を持つ人も多いため、自分から行動すれば「日本を世界に発信する」ことができる場所であると思います。限られた留学期間の中で、勉強も大切ですが、ハワイでしかできないことをたくさん経験してください。

